

令和4年度 立山町立釜ヶ淵小学校 「くらしのたしかめ」の方針

校長 高野

ねらい

- 1 共感的雰囲気醸造し、子供の心の居場所を育む（学級経営）
- 2 話の聴き方（具体的にイメージして）を身に付ける（学び方）
- 3 仲間を話をきっかけに自分のくらしを見つめ、見直す（自分づくり）

気を付けたいポイント

- 1 教師が聴き役としてのお手本を示す（範を示す）
 - ・話す子供のよさを見付けようとする（価値づける）
 - ・共感的に聴く（自分がその立場ならどうか、同じ経験をしたことはないか）
 - ・話を整理する
 - ・板書は大切であるが、聴くことを第一にする
 - ・つぶやきを大切にする（学び合い）
- 2 聴き合い学習の基本を徹底する
 - ・椅子をひいてから話をさせる（落ち着きある思考と発言）
 - ・聴き手の子供が注視してから話をさせる（集中）
 - ・話を最後までさせる（あいまいにしない、確認する）
 - ・うなずき、つぶやきを大切にする（学び合い）

発達段階、教室の状況に応じた指導を心掛ける

- 1 低学年はできるだけ、具体物（絵、写真等）が必要である
- 2 結論から話をさせる
- 3 約束を徹底する。簡単に変えない。変える時は子供の納得の基で（学級経営）
- 4 次第に教師は離れ、子供に任せるようにする（学級経営）